

委員意見まとめ(委員長を除く23名)

No.	賛成・反対	その理由	条件
1	賛成	過去の知見の最大限活用	
2	賛成	プロポーザル審査委員会において最優秀提案者として選定されたことは尊重すべきことであり、建設条件やこれまでの経過等を熟知しているから。	
3	賛成	2回目の会議の中で、出た意見に対しての設計者の考えを聞き、そのとおりだと感じたから。	条件ではないが、「山下設計」が設計した建物を管理した中で、屋根の形状が複雑なのか（デザイン）、冬場（雪や雪の塊）の対策を考えてもらいたい。
4	概ね賛成	<p>プロポーザルで最優秀であった結果は、建築物の設計だけではなく、そのプロセスや構想も良いと判断を受けたからであると考えている。今までのリサーチや、未来の役場庁舎や病院との関わり方、まちの縁側等評価できる点が多いため、概ね賛成であると考えている。</p> <p>しかしながら、当初の建設地とは地形が異なる点や、コストを下げるための既存施設改修折衷案等、当初のコンセプトとは異なる考え方を強いられることは十分に考慮すべき点ではある。将来、役場庁舎を使う子供たち、孫世代に、造ってもらって良かったと思える建築物にするために、先急ぐことなく、一度原点に立ち戻り、基本構想から練り直すことも、一つの方向性であるのではないかと考えている。</p>	<p>賛成の条件：役場庁舎のみに固執せず、公民館機能（複合施設）も同時に構想に入れて、本当の周辺整備になるように進めること。</p> <p>コストのみに囚われ、将来的に必要な設備投資を先送りにしないこと。</p> <p>反対の条件：コンセンサス無き意思決定。</p>
5	賛成	<p>プロポーザル方式という手段において、多くの設計者、提案の中で最も優秀な設計者として選ばれたという結果。契約後のワークショップ、各種団体からの意見聴取等を行い検討してきたことを踏まえれば、この段階で設計者を変更する理由はないと考えます。また、白紙ということではなく、一旦凍結し見直しを進めるということであれば当然のことながら、元となるのは現計画であり、山下・三浦JVの力は必要と考えますので、コストや建築面積等の課題もありますが、引き続き共に進めていければと考えます</p>	特にありません。

6	賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルで選定している事。 ・庁舎建設及び周辺整備基本計画作成時に庁舎内外の現状や課題等を把握していることやワークショップなど住民の方からの意見も把握している中で今後の作業効率を考えると変更する必要はないと思う。(変更することは非効率) 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の計画では、開かれた庁舎との話があり事務室の中の様子が見える形になっていたが、事務室と待合スペースについてはセキュリティや個人情報の観点から現在のように分けたものにしてもらいたい。 ・コミュニティとして使用できる場所があってもいいが華美なデザインは必要ないと思う
7	賛成	<p>建築の設計者を決定する際に、設計提案をいただく方法としてコンペ方式とプロポーザル方式があり、コンペ方式は最も優れた「設計案」を選ぶものである一方、プロポーザル方式は、最も適した「設計者」を選定するものと国土交通省の資料にある。当事業はプロポーザル方式で「設計者」を決定したものであり、条件の変更があったとしても当初に選定した設計者と事業を進めることが適切だと考える。</p>	
8	賛成	<p>設計事業者の選定にあたっては、プロポーザル方式を採用しており、最も適した提案内容を提示した事業者を総合的に評価し、提案者を選定している。また、町と設計事業者は共同で庁舎建設の進捗を目指し、受注者は発注側の要望を計画に反映してきた。今回の見直しは、設計事業者の見直しではなく、提案内容の見直しである。プロポーザル方式では、提案内容の見直しは可能であり、今後の景気動向も不透明であるため、手戻りの発生を最小限とし事業費の抑制に努めるべきと考える。</p>	特になし。

9	同意する (賛成)	<p>プロポーザルで決定された設計者なので、技術は問題ないと思いますので、今後委員会で出された意見をもとに、設計のやり直しをしていけるのであれば継続でいいのではないかと思います。庁舎建設に関しては、住民の意見等反映されないものと思っていましたが、公募委員や私たち団体役員なども含めた今回の「庁舎改築周辺整備事業推進委員会」が設置された事により、今まで無かった、設計者が直接住民の声を聞く場面を常に作り、設計変更反映させてほしいと思います。</p> <p>工事費に関しては、専門的な事は分かりませんが、この先数十年間使用される庁舎ですので、建設時の費用は多少高くなってもランニングコストのかからない建物を作ってほしいし、複雑なデザインは必要ないと思います。中央公民館の様な町民が気軽に使えるイベントホールや会議室は必要だと思いますので、充実させてほしいと思います。</p> <p>少子化とはいえ、今後も移住者が増えていくと思います。</p> <p>役場の利用者は、主にインターネットなどを使わない高齢者が多いと思われるので、役場は最大のサービス業という意識を持って、総合案内所を入口に設置し、常に職員が案内をしていただける状況を作ってほしいと思います。</p>	設計者は変えずに、内容の見直しをすることに賛成
10	賛成	<p>先ず最初にプロポーザルで決定されていた話ありきで話を進めて行くのか、と疑問がありました。白紙の状態では議論を進めていくのか。決定していた事項に対して見直して行くべきか。土地の拡張も含め、コスト的な事を考えた上でプロポーザルをやり直す必要があるのか。</p> <p>前回、プロポーザルで選定されていた業者からの設計説明があり、それを聞いた上では大変良く考えられていると思いました。</p> <p>これを元に進めていくのに反対する理由はないと思いました。</p> <p>今までの経緯がわからず、不透明な部分もあります。話し合いの中をクリアにしていただけたらいいと思います。</p>	
11	賛成	<p>この事業への意気込み(思い)、プロ意識を強く感じました。</p> <p>実績もふまえ任せられる業者と判断します。</p>	
12	賛成	<p>選挙の争点はお金の問題であったと感じている。他の事業者へ替えたとしてもそれほど変わらないため。現在の設計者を替える理由にはならない。</p>	維持管理費用について、丁寧に考えて欲しい

13	賛成	<p>本来この委員会は、議会及び町職員の検討委員会の会議により検討し、一定の趣旨が確認された。そして、今回の検討委員会が組織され検討することになったと理解する。よって、JVの立案された案をたたき台とし、検討するのが本来の姿勢と思う。しかし、前回までの会議を見ると改築自体を反対する意見があり、本来の検討委員会からずれている気がする。これでは、一向に検討委員会が進まない気がする。</p>	<p>あくまでも、改築を基本に検討する旨説明して欲しい。</p>
14	賛成	<p>プロポーザルは適正な手続きで行われ、厳正な審査で現設計者が選ばれています。設計者を変更する合理的な理由がありません。 コスト増については、設計者のデザイン・プランが原因のではなく、世の中の情勢や当初の町からの要件・要望に沿ったことによるものです。現設計者と共にデザイン・プランを見直していくべきだと考えます。</p>	
15	賛成	<p>公募型のプロポーザルは、優れた「提案者」を選定するものです。またプロポーザルの利点は、発注者の要望を反映しやすい点がメリットだと思います。選考で優れた「提案者」と決まったこと、町からの要望にもきちんと改善案を示してくれていることから、山下・三浦JVにお願いすることに賛成です。</p>	<p>特にありません。</p>

16	賛成	<p>プロポーザル審査委員会で審査・選定された業者であり、”設計者を選ぶ”公募型プロポーザルの形で契約しているという説明に納得しており、山下三浦JVと見直していくことに賛成の意見を持っています。</p> <p>ただ、これまでプロポーザルでの選考プロセスの段階を含め、住民が中身を知ることができない不透明な部分が多いが故に、このような議論が起きていることを（町側に）認識いただき、今後情報開示と意見聴取の方法を改善していただきたいです。</p>	<p>第2回の説明時、「住民の声は十分に拾えたと考えている」という趣旨のご発言が山下・三浦JV側からありました。しかしながら、以前のワークショップ（以下WS）で、住民の発言意図まで汲み取れているかは疑問があります。説明の際に取り上げられていた住民意見を私自身がWSで残したのですが、「その発言はそのような意図ではないな」と感じたためです。この状態は、WS実施→形にするという一方通行的な引き起こされていると考えます。形をお示しいただき、その後住民からのフィードバック。を繰り返すなど住民との双方向のやり取りを行うことを、設計者の皆さんにもお願いしたいです。公民館を含めた施設建設のプロセスは今後の町政の住民参加の形を印象付けるものと考えます。形式的参加にとどまらない住民参加の形で「自分たちで考えた庁舎、公民館（複合施設）」と住民が感じられるものを作っていただきたいです。</p>
17	賛成	<p>どこの設計事務所よりも現段階で軽井沢町の庁舎・複合施設を調査、設計などに関する知識が豊富であり、山下設計は以前に軽井沢アイスパークも設計しているため、四季を通じて軽井沢の環境下におかれる建築物についても詳しい。日本の公共施設の3割近くを設計している会社なので安心して依頼できるはずです。問題とすべき内容は、町が設計者に対してどんな仕様の建物を依頼するかが重要。コスト上げるも下げるもこれ次第です。もう一点理由としましたら、これからプロポーザル方式からはじめてみると、時間とお金の浪費になり、完成する前に次の選挙になり、また混乱が生じるためです。</p>	<p>条件は特にありません。</p>

18	(その他設計内容についての意見)		<p>建て替えは、町役場のみで中央公民館と老人福祉会館については今の建物内部のリニューアル工事で修繕のみ検討してほしいと思っています。以前住んでいた浦安市も、2016年建て替えを致しました。延床面積25680㎡地上11階で119億4000万円でした。安全安心快適な庁舎、コスト環境を考慮した庁舎がコンセプトでした。各フロアには、わかりやすい案内板災害対策本部には、浦安全地域が映し出されており、自家発電装置が設置3日間連続運転可能燃料タンクが備えられています。500円で利用できる食堂もあり市民も利用可です。授乳室も、ベビーカーがそのままは入れたり、おむつ交換出来るベットも設置されています。後、2時間無料で預かってくれる託児所も完備しています。お散歩バスも乗り入れており、利便性が向上しました。総人口17万人の浦安は、半分埋め立て地であり新浦安に関しては、電柱が地中化されており、綺麗に整備された街で住みやすくとても暮らしやすく子育てしやすい街でした。移住民の町であり、高額所得者が多数住んでいて所得水準も高く、平均年齢は、39.1歳です。東京ディズニーランドがあり、浦安は軽井沢と似ているような気がしています。軽井沢同様財政が潤っていましたが東日本大震災で、液状化に被害で復旧に700億かかりました。震災を経て、分散していた施設、老朽化していた旧庁舎を統合耐震性にも問題を抱えていたのので、建て替えは支持されました。軽井沢町は、平均年齢が50.5歳2045年には56.1歳に66歳以上の比率が高くなるのでできるだけ借金はせずに、将来世代につけが回らないようにしてほしいと思っています</p>
----	------------------	--	---

19	条件付き賛成	<p>山下設計+三浦JVはプロポーザルでその力量が評価され選定されており、また三浦慎氏が軽井沢に移住してきたというのも、軽井沢庁舎建設への並々ならぬ熱意が見られる。</p> <p>しかし当初の基本計画・設計で示された内容には、建設費の増大及び今後の維持管理、利用率の面で疑問とする点が多々見られるため、当委員会です分に議論を尽くした上で、新庁舎設計に限定した業務委託としたい。</p> <p>特に町庁舎建設費がわずか2年間で3割増しとなるのは、建設費の高騰だけでは説明がつかず、基本設計の段階で十分な検討がなされていなかったためと考える。例として私が住む東京都品川区の新庁舎をあげると、現在延べ面積6万㎡を予算400億円規模で進んでいる。区民人口は40万人超、一般会計収入は1988億円（*比較して軽井沢人口は2万人、収入185億円、建設費48.4億円/延べ面積7500㎡）。品川区長はそれでも民活を利用し区民負担400億円を200億円にするとして昨年末当選した。それが政治だと思う。</p>	<p>見直し対象の一つにZEBがあげられているが、ゼロカーボンシティを主唱する軽井沢の町庁舎としては、ZEBを追求することは必須条件だ（品川区はnearlyZEBでエネルギー消費量を75%削減）。ただ設備のライフサイクルコストの判断には高度な専門性を必要とし、当委員会の構成では設計案に対して適切な判断を行うのは難しいと考える。そのため前回委員会後、知人の設備設計家に相談したところ、添付の所感を送っていただいた。今回山下設計+三浦JVに設計業務を継続依頼するにしても、このようなピアレビューがなければZEBの判断もつかず、当委員会として軽井沢町民に責任を持って提言することはできないのではないかと。従って設備に関する「アドバイザー」を当委員会に（期間を限定して）設けることを条件としたい。※別添資料付</p>
20	賛成	<p>山下・三浦JVが積み重ねてきた当プロジェクトの知見や経験を重視し、スピード感を持って・濃密な議論を行うため</p>	<p>二つ条件があります。</p> <p>この条件は山下・三浦JVの如何に関わらず、当プロジェクト推進にあたり必須と考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政側で設計実務のコンサルをつけ、設計側に対してのオリエンのクオリティを上げること。（高所大所からもの言う大先生はこれ以上不要、行政と共にオリエンを作り上げる現場チームが必要） ・行政側にコミュニケーションのコンサルをつけること。情報公開の手法を刷新し、町民の納得感と、シビックプライドを上げるコミュニケーションを実施していくこと。 <p>上記二つのコンサルは、コスト増の要因になりますが、結果としては全体コストの削減につながると考えています。</p>

21	賛成	<p>設計者の選定が設計案を採択するコンペではなく、プロポーザルで選定されたことは、土地のコンテキストを読み解き、町のニーズを理解できる設計者であること、また、規模やニーズに応えることのできる経験値や組織力の部分でも妥当と評価されたことです。したがって、「設計者の見直し」は必要ないと考えます。</p>	<p>3) 補足 賛成の、条件ではなく、補足としてお伝えしたいことがあり、この欄を借りてお伝えさせていただきます。 上記のことから、土地や予算面、機能面での条件変更があったとしても、それが現時点で「設計者の見直し」には直結しないことであるにもかかわらず、ここでそのような議論が発生してしまったことに、政治闘争の材料にされてしまっているのではないかと心配もしています。 (仮に必要があったとしても、庁舎と複合施設計画の見直しの最後の局面で問われることであつたと考えます) また、この議論の理由にある「町民のコンセンサスがないうまま進んでしまった」ことは、22年度末までに設計者が納品した「基本設計」が問題なのではなく、最初から想定できていた「見えないコスト」が、納品後に突然町民に可視化されたことに見られるように、継続的に複雑な状況を、的確・端的・効果的に町民に伝えてこれなかった行政の仕組みや仕掛けの課題が、この「設計者見直し」に転嫁されてしまったようにも見えています。この課題は、同様にこの推進委員会のあり方にも言えることで、町民のコンセンサスを得るには、現在予定されている委員会の進捗を町民に共有したり、パブコメをとることだけでは到底補えず、いわゆる町民に開かれたファシリテーター付きの「ワイガヤ」の場を重ね、町民の要望などを多様に吸い上げるプロセスが必要と考えています。そうでもしなければ、本委員会も行政が「エビデンスのために行っただけ」と捉えられかねないという危惧も抱いています。ついては、ぜひ町公認で開かれた場・部会を総合政策課で多数開催いただくか、もしくはその役目を公募委員含めた町内のファシリテーションできる第三者に委託されることをご検討いただけるようお願いする次第です。その際には、ぜひ役職に関わらず、若い行政人の方の積極的な参加も町民の多くが希望していることも申し添えさせていただきます。</p>
----	----	---	---

22	反対	<p>昨年、前町長が主導した役場建て替えが町長選挙の大きな争点となり、土屋町長が大差で当選し、その結果、町民も参加する形で本委員会が開催されているという経緯を真剣に受け止めて頂きたい。</p> <p>一度決まったことだから、もう既にコストがかかっているから、時間がないからという理由で、手続きの外形だけ整えて委員会を終えることのないように留意して頂きたい。</p> <p>本件は、こうした新町長選出の経緯に加え、①当初計画と対象敷地の形状が大きく異なっていること、②中央公民館を建て替えずにリノベーションして継続使用する可能性も視野に入れていること、③DXを活用した、町保有の既存施設の利用と組み合わせた分散型行政という新しい発想も出てきていることなどから、一旦、仕切り直して、再度、山下・三浦JVを含む複数社からプロポーザルを受けるとするのが常識的且つ誠実な行政対応だと思う。</p> <p>加えて、第二回委員会における山下設計のプレゼンが、自社の実績を誇示するだけで、町民と対話しようという姿勢に欠けていたことも大きな懸念材料として挙げられる。一度決まったことを今になって町民にあれこれ言われたくないという姿勢が見られたのは、とても残念であり、且つ本プロジェクトの先行きを懸念せざるを得ないという印象を受けた。これに対しては、三浦氏については丁寧に回答をして頂いたと思う。</p> <p>本委員会における町役場側のスタンスについても、もう少し町民を代表する側としての主体性を持って頂きたいと思う。地方自治の根幹である住民自治の理念を忘れずに、住民のためにどうあるべきかを第一に考えて頂きたい。そのために、山上・三浦JVが良いのかどうかということがポイントであり、設計事務所に気を使ってその本筋を忘れることのないように留意して頂きたい。</p> <p>もし町役場だけではこれだけ大きなプロジェクトは乗り切れないので、山上・三浦JVに頼りたいという気持ちがあるのであれば、まずその前に町役場側に立ってくれる建築のアドバイザーを雇うことを考えたら良い。現状、團先生に「相談」という形で関わって頂いているが、これだけ大きなプロジェクトである以上、團先生に限らず申し訳程度の「お足代」で済ますのではなく、きちんとした報酬を支払ってプロフェッショナルなアドバイスを求めるべきだと思う。</p> <p>本建て替え問題は、22世紀にまで及ぶ軽井沢町政の方向性を左右する大きな問題であり、他の日々の行政問題と同列に短兵急な判断をすることなく、丁寧且つ冷静に進めて頂きたい。</p> <p>現時点では、町役場と山下・三浦JVと町民との間の信頼関係が十分に醸成できているとはとても言い難い状況であり、まずその部分を強く意識して丁寧に進めなければ、いずれまた根底に流れるこうした不信感が表出して、事態をより紛糾させることになると思う。まずは、信頼関係の構築のところから始めて頂きたい。</p>	<p>本件は軽井沢の全住民が注視する中で行われている重要案件であり、単純な多数決で決することのないよう、丁寧に進めて頂きたい。</p>
23	一応賛成	<p>これまで費やした時間と費用が無駄になるから</p>	<p>費やした時間と費用が無駄にならない方法があるならそれでも良い</p>